

神奈川県立生田高等学校（全日制課程普通科）における  
スクール・ポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

◎ 「不確実で複雑な時代」を生き抜くための「協働」を重視し、協働の前提としての「主体的な意志のある自立した『個』」を育成することを重視します。そうした考えの上に立ち、本校では、卒業までに次の資質・能力を育みます。

☆ 課題を発見し解決するために必要な「科学的・論理的な『思考力・判断力・表現力』」「他者と協働する力」「自ら主体的に学び続ける力」

☆ 豊かな人間性、社会性、リーダーシップ、社会の発展に貢献する力

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◎ 「主体的な意志のある自立した『個』」を構成する資質・能力（上記1の☆）を育成するための教育課程上の重点は、次のとおりです。

○ 生徒の「高い目標」設定と目標実現に向けた努力の貫徹を支援する「文理両道」の視点による教育課程の編成と実施

● 2学年からの緩やかな文理分けによりそれぞれの進路希望に応じるとともに、文系用理系科目、理系用文系科目を適切に配置

● 未来社会の複雑な問題を解き明かすための、文系・理系に特化しない多角的思考を促す教育課程の実施

○ 「主体的・対話的で深い学び」の実践

● 「本時の目標」に照らした授業内容のまとめとなる言語活動等の実施

● 「内化→外化→内化」「個→協働→個」（「インプットとアウトプット」「個別学習と協働学習」の組み合わせ）による思考の深化、知識の定着

● 「情報活用（思考・判断・表現）」による「知識習得」の促進

○ 生田流「文武両道」の推進

● あらゆる教科外活動（クラス活動、学校行事、部活動等）を「武」と位置付けて推進

○ 県立高校指定校事業の推進

● 理数教育推進校（令和4～6年度指定）として、文理両道の視点で科学的・論理的思考能力、問題発見・解決能力の育成を推進

● ICT利活用授業研究推進校（平成28～令和3年度指定）としての実践を継続・発展させ、一人一台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◎ 「主体的な意志のある自立した『個』」を確立し、他者と協力して、様々な課題を解決しようとする生徒を求めています。

☆ 「高い目標」を持ち、その実現に向けた努力を通して、自らの能力を高めようとする生徒

☆ 全教科・科目の学習活動とあらゆる教科外活動を通して、自らの能力を高めようとする生徒

☆ 「自ら主体的に学び続ける」ことを通して、自らの能力を高めようとする生徒